

みずほCustomer Desk Report 2019/07/22号(As of 2019/07/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.55 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.41	1.1261	120.96	1.2545	0.7068
SYD-NY High	107.97	1.1282	121.28	1.2556	0.7082
SYD-NY Low	107.22	1.1204	120.82	1.2476	0.7038
NY 5:00 PM	107.75	1.1220	120.89	1.2506	0.7043
NY DOW	27,154.20	▲ 68.77	日本2年債	-0.2000	0.00bp
NASDAQ	8,146.49	▲ 60.75	日本10年債	-0.1400	0.00bp
S&P	2,976.61	▲ 18.50	米国2年債	1.8234	6.96bp
日経平均	21,466.99	420.75	米国5年債	1.8155	4.98bp
TOPIX	1,563.96	29.69	米国10年債	2.0561	3.10bp
シカゴ日経先物	21,270	135	独10年債	-0.3250	▲1.40bp
ロンドンFT	7,508.70	15.61	英10年債	0.7325	▲2.65bp
DAX	12,260.07	32.22	豪10年債	1.3445	0.10bp
ハンセン指数	28,765.40	303.74	USDJPY 1M Vol	6.17	▲0.09%
上海総合	2,924.20	23.02	USDJPY 3M Vol	6.30	▲0.14%
NY金	1,426.70	▲ 1.40	USDJPY 6M Vol	6.40	▲0.16%
WTI	55.76	0.34	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	178.59	1.14	EURJPY 3M Vol	6.34	▲0.06%
ドルインデックス	97.15	0.36	EURJPY 6M Vol	6.66	▲0.11%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月19日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	6月 0.7%/0.6%/0.5%	0.7%/0.6%/0.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	7月 98.4	98.8

【本日の予定】

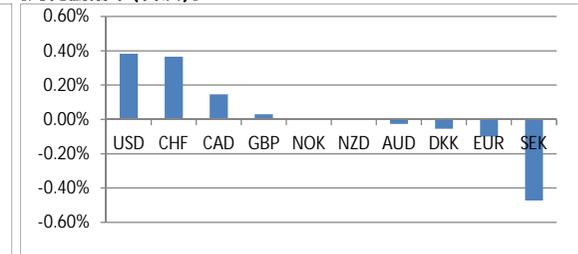
Date	Time	Event	予想	前回
7月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	6月 0.10	-0.05

東京	東京時間のドル円は107.41レベルでオープン。前日ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁が早期利下げの必要性を強調したと伝わったことから海外市場ではドル安となっていたが、同連銀が政策行動に関することではないと発表したことからドルの買い戻しが進行した。また日経平均株価が堅調に推移したことも支えとなり107.65レベルにて海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は107.65レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、ドルの買い戻しが進行。107.71まで上値を伸ばしたが、今月末FOMC利下げ幅への不透明感から、前日のウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁の発言前の水準の107.80台までは回復できず、107.66レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2530レベルでオープン。新規材料に欠けるなか、欧州時間は横ばい推移に終結した。結局1.2538レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は107.66レベルでNYオープン。朝方は、ドル買い戻しが継続したことから107.79まで戻すが、トランプ大統領が前日のウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁の発言を賞賛したことから、ドル売りが優勢となり、10時に発表の7月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回ったことから107.59まで反落する。その後は107.70付近での推移が暫らく続くが、午後に入りトランプ派で知られるブレード・セントリス連銀総裁が「次の会合では25bpで行く」と発言し、米紙が「Fed要人は今月末の会合は25bpの利下げのサインを送っている」と報じたことから50bp利下げ期待が後退し、107.97まで戻す。しかし、戻り売り意欲は強く107.69まで反落する。終盤に掛けては、週末を控え、狭いレンジでの推移が続く107.75レベルでクロスした。一方、ユーロドルは来週木曜のECB理事会を控え弱めの内容になるとの見方が強まったことや、海外市場でドル買い戻しが持ち込まれ、1.1232レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続し、1.1218まで下落するが、トランプ大統領の発言を受けたドル売りに1.1239まで戻す。その後暫らくは狭いレンジでの推移が続くが、午後に入り、ブレード・セントリス連銀総裁の発言を受けたドル買いに、1.1204まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲もあり、終盤に掛けては週末を控え狭いレンジでの推移が続く、1.1220レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.40-108.20	1.1170-1.1270	120.20-121.40

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日はウィリアムズNY連銀総裁による前日のハト派的発言を釈明するコメントでドルは全面高、更に米紙が当局は(0.5%ではなく)0.25%の利下げを示唆していると伝えられドル/円は一時107.97まで買い戻される場面があった。保守的で変化を望まないとの本邦選挙の結果であったが、この後日米の貿易交渉が本格化してくると推測され、この先はドル/円は上値が重くなるものと考えられる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷